

城北



令和7年7月1日現在
 総世帯数 3,790
 総人口 7,711
 総人男 3,651
 総人女 4,060

初夏の大町食育ツアー

5月22日に公民館主催の食育ツアーに22名の方と参加してきました。朝松本市のバスで

見渡せるように、工場の2階に見学室が作られています。

大町にあるサントリー天然水北アルプス信濃の森工場に向かい、工場には9時半に到着しました。工場は名称にあるように国営アルプスあずみの公園大町・松川地区に行く途中の森の中に建設されています。ツアーはサントリーの谷口さんという案内者に売店を兼ねた建屋の前で、工場の概要や諸注意を聞いてから1時間コースの工場見学に向かいました。工場に入ってからまずは飲料に使っている水の関係のビデオを視聴し、実際の飲料水の製造ラインに移動しました。

工場自体は幅が50メートルくらいで奥行きが100メートルほどの広さの中に6本程度のラインが奥に向かって設置されていました。この時期は夏季の需要に応じるために、ほぼフル稼働での生産中とのことでしたが、そんな状況でも作業員は7名ほどで動かしていますという説明がありました。

工場見学の記念として天然水と新製品の乳性飲料をいただき、午後の目的地の美麻高原にあるマルコメの美麻高

原蔵に向かいまし

た。美麻高原には蔵が2棟

建てられ



▲水になった気分で見学

ており、売店と味噌造りを体験できる建屋で一通りの説明を受け、3、4名のグループに分かれ、味噌の材料が置かれたテーブルで手作り教室の授業を受けました。最初にビニール袋に入った蒸した大豆を細かくつぶす作業からスタートしました。



▲熱心に大豆をつぶす参加者

が、均等に大豆をつぶすのに皆さん苦労されていました。大豆がつぶれたところで麹と塩、水を加えて、また均等に混ぜる作業をしてから袋の空気を抜き、袋の口を輪ゴムで止め、タッパーに入れ製作者の名前を記入して、味噌の仕込みの完成となりました。完成品の重量で約1・4キログラムいとなりました。

この時期だと約半月くらいで食べられるようになります。味噌造りが終わったところでパネルを使つての味噌の種類、地域による種類の違いや、味噌の発祥や現代までの味噌の歴史の説明がありました。最後に各テーブルに皿

に乗せた材料別、味別、仕込みの期間別の9種類の味噌が配られ、食べ比べの授業を受けました。それぞれ試食を行い、最後に自分で美味しいと感じた味噌をコップで溶かしての試飲をし、約1時間半の教室が終了となり、参加者は各人が作った味噌をお土産に松本への帰路につきました。

今回の見学や教室は個人でも参加できますので、夏休みの期間中にご家族で参加してみるのが楽しい体験になると思います。



令和7年になり、諏訪路への「おとこ旅」・大町への「食育ツアー」と新企画が目白押し。城北地区で、今度は5月30日に居酒屋公民館が新規開店いたしました。利用してくださる皆さんが、どうしても女性の方が多い傾向なので、男性の皆さんにも是非の思いからです。当



▲皆でかんぱ〜!



▲美味しい料理に会話も弾みます。

日は多少肌寒い陽気でしたが、午後6時の開店前から続々と、自分好みのお酒・おつまみ持参で17名の皆さんが来店です。まず店主の館長さんや主事の村田さんが用意してくださった、格安のジョッキ1杯300円の生ビールで乾杯。窪田連合会長さんから健司さんからの手料理の差し入れに舌鼓を打ちながら、日頃の政治への不満話(備蓄米放出)や若き良き時代の思い出話や持ち寄り梅酒自慢・今後の地区公民館活動など、たくさんの話題で盛り上がりました。

来店客が楽しく語り合った、あつという間の2時間で手持ち酒を飲み干し閉店時間を迎えました。

次回は8、9月頃開店予定です。是非お仲間を誘い合つて、ご来店いただければとお待ちしております。

「城北の宝カルタ」の文化財・町会名現地見学会

5月30日曇り空の下、徒士町の三村洋さんに案内していただき、17名で散策をしました。田町小学校跡地の城北公民館を出発し、**新田町、北馬場、田町**の石碑を確認し、県歌「信濃の国」の作者浅井洌邸跡、初代松本市市長小里頼永邸跡、日清日露戦争に従軍し、馬で単騎シベリアを横断した福島大将の記念碑を見学し、**西町、旗町、徒士町**と進みました。高橋家住宅では屋根に置いた石の変遷や、徒士町にあった大イチョウの木が大火を防いだ故事について聞きました。三村さんは道々で、ここになつめの木が、あそこにはゆずり葉が、図書館横には魯桃桜の木と示され、皆でホタルブクロや薔薇の花々も愛でて歩きました。蟻ヶ崎東に向かい、江戸時代建立の厄病払いの庚申様青面金剛像を拝み、女性の健康を司る姫宮神社で解散となりました。



▲身近な地域に新しい発見



▲姫宮神社を参拝しました。

た。普段、歩きなれていて、道々ですが、様々な発見がありました。三村さんの知識と地元愛溢れるたのしいトークに魅了され、参加者の朗らかな笑い声も聞かれました。次回は10月に、沢村大日堂、西町文化村、白金旧射撃場跡地等の見学が予定されています。一緒にいかがですか。

第24回 ふれ愛まつりを開催します！

例年盛大に開催している「城北地区ふれ愛まつり」を、今年は9月27日(土)、28日(日)の日程で開催します！

地域の皆さんの作品展示や発表イベント、魅力的な喫茶・販売、楽しいあそびのひろばなど、様々な企画を検討中です。

詳細は9月の配布物にてお知らせします。皆さんお楽しみに！

城北地区子ども会育成会主催バス遠足 ～国営アルプスあずみの公園 大町・松川地区～



蟻ヶ崎北町会 運動会

